

地域の学校応援団!!

長泉町地域学校
協働本部だより
第12号
令和7年4月

長泉町地域学校協働本部実行委員会発行

学校と地域が
パートナーとして行う

地域学校協働活動

- ★子どもたちのこれから生き抜く力の育成（学校では、得られない知識・経験・能力）
- ★地域住民が自ら地域をつくっていくという「主体的な意識への転換」
- ★学校・家庭・地域の連携協働



はじめよう! ボランティア

皆さんの支援が、学校や地域の活性化につながります。
ご自身の特技や経験を「できるときにできることを」
子どもたちの健やかな成長のために、活かしてください。
あなたの力、貸してください。いっしょに活動しませんか。

地域学校協働本部事業

小・中学校授業支援

- ミシン調理実習補助 ●自然教室支援
- 学校校地内の花壇整備や草取り、植木の剪定
- 学校内の修繕（下駄箱やドアなどの大工）
- 学習用畑の整備や世話
- 授業参観や学級懇談、個別面談時の託児
- 日本語支援や通訳（英語、中国語など） ●放課後学習支援
- 部活動支援 ●登下校時の見守り

ながいずみ寺子屋支援

- 長期休業中の寺子屋での学習支援

家庭教育事業支援

- 子育て座談会及び相談会時の乳幼児、児童生徒の見守り

わんぱく通学合宿



- と き：6月木・金・土の予定（木曜日夜～土曜日午前の2泊3日）
場 所：コミュニティながいずみなどの公共施設
事業内容：小学生が学校や家庭を離れ、公共施設に宿泊し、
仲間と協力して自分たちの力で生活体験する活動
（平日に行うため、日中は通学します。）
対 象：町内在住小学4年生～6年生（30人程度）
ボランティア内容：宿泊体験の企画や運営の補助、宿泊の補助、
活動中の子どもへの支援

- 参加回数…都合のつくときだけでも構いません。無理をせず **できるとき** にご協力ください。
- 教える経験…どなたも「経験ゼロ」からのスタートです。経験・資格は不問です。子どもたちの声に耳を傾けることを大切にしてください。地域の大人である皆さんと交流し、同じ時間を過ごす中で、子どもたちはさまざまなことを感じ成長します。ぜひ皆さんのお力をお貸しください。

放課後子ども教室

「のびのびスマイル」

- と き：水曜日の放課後
14:00頃～（2時間程度）
場 所：町内各小学校の運動場又は体育館
事業内容：小学生が自由に遊ぶ活動
対 象：小学1年生～6年生
ボランティア内容：遊びを見守る、一緒に遊ぶ、
遊びを教える

松崎町・西伊豆町体験事業

- と き：令和7年8月30日（土）（日帰り）
場 所：松崎町および西伊豆町内
事業内容：災害時における相互応援協定を締結した松崎町・西伊豆町において、
町内在住の小学4年生から中学2年生が公募ボランティアとともに
松崎町・西伊豆町での体験活動等を実施する。
対 象：町内在住
小学4年生～中学2年生 20人
ボランティア内容：各種体験を楽しむ事業の補助

地域学校協働活動ギャラリー

わんぱく通学合宿

小学生が公共施設に宿泊し、仲間と協力して自分たちの力で生活体験をする活動



放課後子ども教室(のびのびスマイル)

小学生が水曜日の放課後に地域の大人が見守るなか、自由に遊ぶ活動



長泉町少年少女サークル(はぴはぴサークル)

地域の大人が講師として第2土曜日午前に小中学生に行うサークル活動



茶道サークル



フラダンスサークル



箏曲尺ハサークル

わたしたちがコーディネートします!

各小・中学校に1人ずつ配置されている私たち地域学校協働活動推進員が、学校のニーズと支援活動を行うボランティアとの調整を図り、学校応援団の活動をしています。ボランティア登録を考えているあなた、ぜひ私たちにお声がけください。



長泉小活動推進員

八山 富美代さん

北小活動推進員

山崎 さつきさん

北中活動推進員

花房 由美子さん

長泉中活動推進員

内藤 路子さん

南小活動推進員

渡邊 靖子さん

お問い合わせ

多くの皆さまのボランティア登録をお待ちしています。まずは、生涯学習課へご連絡ください。

【問い合わせ先】

長泉町地域学校協働本部事務局（生涯学習課）

電話：055-986-2289

メール：syogai@town.nagaizumi.lg.jp

こちらをご覧ください。

<https://www.town.nagaizumi.lg.jp/soshiki/syogai/1301/8732.html>



小学校での活動

私は主に家庭科の授業のボランティアに参加させていただきました。

ミシンの使い方は、初めは不慣れな子が多いですがどんどん上達したり、調理実習では同じ班になった子同士で協力する姿が見られたりと何度も参加するうちに成長を感じ、ボランティアに参加する事が楽しみになりました。

少しでも役に立てたらという思いで初めてのボランティアですが、私自身とても楽しく、素敵な経験をさせていただきました。

(長泉小) 岡田 翔さん

畑ボランティアを始めて三年目、今回初めてみそ作りをお手伝いすることになりました。

好きなみそ料理や家でどんな料理を作っているかなど話しながら作っているとおつという間に完成。コロナ禍を機に我が子以外の子と話す機会が減っていたので、新鮮で楽しい時間となりました。

みその完成は半年から一年後との事。みその出来映えもそうですが、一緒にみそ作りをした子ども達の成長も今から楽しみです。

(南小) 影浦 菜津美さん

中学校での活動

一年生が家庭科の授業で作る小物入れのキットの布を裁断するボランティアに参加しました。十数種の柄の布を大小二枚に裁断するため一枚一枚物差しで測り初日は時間がかかってしまいました。

次の日はコーディネーターさんが型紙を作ってくれたので作業も進みボランティア皆で二百六十組を裁断する事ができました。

生徒の皆さんが好みの柄で小物入れが出来上がるのを楽しみにしています。

(長泉中) 諏訪部 ムツミさん

昨年度から特別支援学級の生徒と地域の方々と太鼓を通して交流を行っています。

地元の「いずみ太鼓」の方々に教えていただき、昨年度、三月に全校生徒の前で披露しました。最初は生徒たちも四苦八苦しながら練習を行っていましたが、地域の方に優しく熱心に教えていただいたおかげで発表することができました。発表後は皆さんから認めてもらい今までにない良い表情をしていました。

今年も三月に発表会があるので、地域の方々と共に頑張っていきたいと思います。

(北中) 吉田 洋一さん

北小から百葉箱修理の依頼を受け仲間六人で対応しました。修理は屋根板の交換だけで済むと思われましたが、始めてみると脇板床板の修理交換も必要でした。メンバーに技術、道具を持っている方がいて、作業場所まで提供してもらったので作業がスムーズに進みました。おかげで新品に匹敵する仕上りとなり喜んでもらえました。

情報交換にラインで「北小百葉箱チーム」を作って仲間の結束が出来たことは良かったです。

(北小) 吉田 邦男さん



家庭科 ミシン補助



みそ作りボランティア

活動に参加したスタッフの皆さんからの感想です



百葉箱 修善



パパママ座談会

長泉わんぱく通学合宿

「長泉わんぱく通学合宿」にボランティアとして参加し、八年目。長泉にある三つの小学校の四・五・六年生が参加するこの合宿は、通学をしながら、公共施設での二泊三日を「はじめましての仲間」と一緒に過ごします。

自宅から離れて経験する「通学・宿泊・食事作り・レクリエーション」。たくさんの生き生きとした、ありのままの子どもの表情があります。緊張した顔、笑顔、仲間と協力する姿。これからも見守り続けたいです。

猿田 あやさん

パパママ座談会

大きなリュックを背負ってお子さんを抱っこして入ってくる「パパママ座談会」。笑顔で迎える子守りボランティア：ちらっと見てママにしがみついて離れない小さな子やおもちゃに誘われて遊びだす子がいる。

同じ部屋で先生と楽しそうにお話ししながら、その日に作ったそれぞれの作品を見せ合っているパパママたちのひととき。そんな時間を過ごせてもらえるような子守りになっていたらうれしいと思う。

内藤 路子さん

ながいずみ寺子屋

夏季と冬季の寺子屋に参加しました。算数の勉強をしていた小学五年生は、頭の良い子であることがすぐに分かりました。

一段高いレベルの話をして、好奇心を刺激しました。隣にいた同じ小学五年生は、一時も動きを止めることがありません。勉強には手がつきませんが、得意な空手について聞くと、目を輝かせたくさん話してくれました。

寺子屋にくるような子どもたちに静かに勉強しようねなどと諭すのは、愚の骨頂です。

富山 弘信さん

ボランティアからの発見

平成三十年から学習支援に参加しており、今年で7年目になります。

当初はマンツーマンの学習支援、現在は集団での学習支援、たまに交通安全見守り支援、池の掃除など。

子どもは、家庭・学校・友達・地域の中での関わり合いをもちながら育つものと思います。地域の中での関わり合いと言うと活動そのものが敬遠されがちですが、堅く考えずに、参加してみる事です。遊び心を持って自分なりの思いで参加すれば発見があるかもしれません。

宇津木 芳明さん

児童・生徒作品展

長泉町内の小・中・高等学校児童・生徒作品展の受付をさせていただきました。今回で三回目となりました。

今回は、北中二年の二人の方も加りました。午前中は部活動をして、午後一時に来てくれました。二人とも来場者に笑顔で応対していました。お友達が来た時も、話をしながらしっかり受付をしてくれました。

作品展は毎年、力作が多く、児童や生徒の創造力に感心します。特に高校生の作品は、年ごとに上手になっているようです。

木下 邦子さん



和太鼓の指導



家庭科 布裁断ボランティア



児童生徒作品展受付



寺子屋学習支援

特技や経験が生きるボランティア活動